

不審電話に関する事例

事案①

10月3日（木）宮崎市内の被保険者（76歳男性）宅に市社会福祉課のサクライから委託された業者という者から「払い戻し（何の払い戻しか不明）が43,368円あるので、今すぐにローソンに来てほしい」と電話があった。その後また「締め切り（9/25）を過ぎている」とのことで、宮崎銀行（本郷支店のイシガミ）を名乗る者からも別途催促の電話があった。不審に思い、折り返し電話をする旨を伝え、相手の連絡先を尋ねると、無言になり電話が切れた。

事案②

10月3日（木）宮崎市内の被保険者（81歳男性）宅へ宮崎市職員を名乗る者から「医療費の払い戻しの担当課が変わった。医療費の払い戻しがあって申請書を送付していたが、締め切り（9/25）を過ぎても返送がないため連絡した。宮崎銀行のキャッシュカードがあれば、ATMですぐに還付できる。」と電話があった。キャッシュカードは持っていない旨伝えと、「5分後に宮崎銀行から電話を入れるようにする。

そうしたらすぐにキャッシュカードが作れる」と説明された。不審に思った男性が市役所に確認の電話をしたことで本事案が判明した。

事案③

10月3日（木）宮崎市内の被保険者（77歳男性）宅へ宮崎市福祉課職員を名乗る男から「支払い過ぎの5年間分の医療費54,000円を遡って還付する旨の通知を出しているが返送がないので電話した。本日15時までに宮銀の通帳、カード、保険証を持ってコンビニ（ローソンかセブンイレブン）へ行き、宮崎銀行のナガイさんへ電話（携帯番号を伝えられた）するように。手数料は4,000円かかる」との電話があった。コンビニから指示された携帯番号に電話したが、機械の操作がうまくできなかつたことと、気が付いたコンビニの店員から声を掛けられ、不審に思い、そのまま電話を切った。

事案④

10月4日（金）宮崎市内の被保険者（90歳代男性）宅へ宮崎市職員を名乗る男から「還付金がある。県内のA銀行総合コールセンターの男から電話がある」と連絡があった。

直後にコールセンターの男から電話があり、「手続きをするので、近くのATMまで行ってください」と説明された。

男性は10月7日（月）にコンビニのATMの前で男の電話番号に連絡し、言われるままにATMを操作していたところ、約100万円の振替明細書が出てきた。不審に思った男性が銀行に問い合わせたことで詐欺被害に気付いた。

不審な電話等があった場合、広域連合、市町村後期高齢者医療担当または最寄りの警察へ御相談ください。

問い合わせ先：宮崎県後期高齢者医療広域連合

0985-62-0921（業務課）